

令和5年(2023)10月 入域観光客数概況(速報)

78万8,400人
 対前年(R4)同月比 +15万7,700人、+25.0%
 ～10月としては復帰後4番目、対前年同月比で23ヶ月連続の増加～
 ※(R元年度)同月比 ▲6万2,900人、▲7.4%

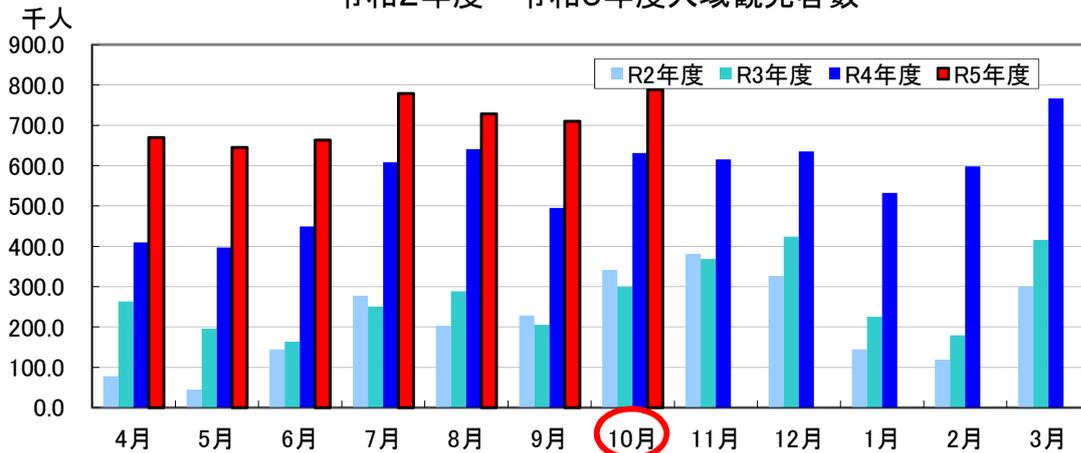
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	672,900人	628,000人	+44,900人	+7.1%	85.4%
外国客	115,500人	2,700人	+112,800人	+4,177.8%	14.6%
合計	788,400人	630,700人	+157,700人	+25.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等12,300人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり(10/7～9)等の県内イベントの開催があったこと、横浜発着大型クルーズ船の寄港が2回あったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。
 11月は、修学旅行の最盛期となることに加え、沖縄大交易会2023等の見本市、ツール・ド・おきなわ等のスポーツイベントへの来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

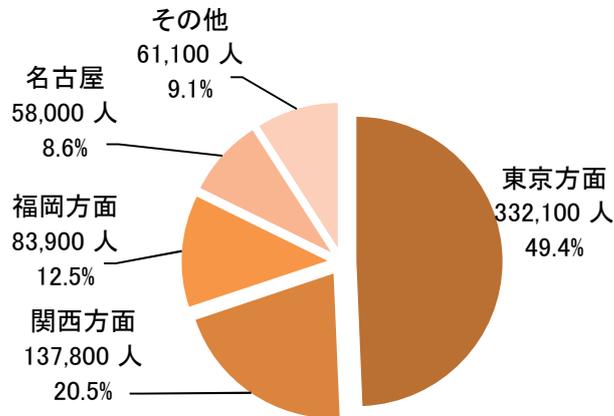
国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	332,100人	316,400人	+15,700人	+5.0%	49.4%
関西方面	137,800人	131,800人	+6,000人	+4.6%	20.5%
福岡方面	83,900人	74,600人	+9,300人	+12.5%	12.5%
名古屋	58,000人	59,300人	△1,300人	△2.2%	8.6%
その他	61,100人	45,900人	+15,200人	+33.1%	9.1%
合計	672,900人	628,000人	+44,900人	+7.1%	100.0%

※国内海路客5,300人含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和6年1月の公表を予定しています。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと、航空会社による連休等の需要を見込んだ臨時便があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

11月は、修学旅行の最盛期となることに加え、航空会社による祝日に係る臨時便等があること、沖縄大交易会2023等の見本市、ツール・ド・おきなわ等のスポーツイベントへの来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

関西

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

11月は、修学旅行の最盛期となることに加え、沖縄大交易会2023等の見本市、ツール・ド・おきなわ等のスポーツイベントへの来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

福岡

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

11月は、修学旅行の最盛期となることに加え、沖縄大交易会2023等の見本市、ツール・ド・おきなわ等のスポーツイベントへの来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

名古屋

10月は、前年度に同月まで運航されていた石垣・宮古行き季節運航が、今年度は8月までの運航であったこと等から前年度同月を下回ったものの、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったことから、コロナ禍前の令和元年度同月を上回り、堅調に推移した。

11月は、修学旅行の最盛期となることに加え、沖縄大交易会2023等の見本市、ツール・ド・おきなわ等のスポーツイベントへの来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和6年1月の公表を予定しています。